

協育新聞

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第48号

2022年12月31日発行

発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネット



「全国コミュニティ・スクール研究大会in玖珠」に参加して

理事長 中川忠宣・事務局長 上原政道

2022年10月29日(土)に我が大分県玖珠町でコミュニティ・スクール研究の全国大会が開催されました。会場には、北は北海道、南は沖縄県、主催者としての文部科学省、全国の推進者、大分県教育委員会等の方々など500名以上が参加され、素晴らしい研究交流会で、多くの学びをすることができました。しかし、全国的にもまだ「道半ば！」の中で、様々な工夫と努力で、徐々に成果を上げている様子をうかがうことができました。その中での一部を紹介します。

文部科学省国立教育研究所の志々田まなみ統括研究官から、教員免許更新講習の廃止や教員の長時間労働の現状(小学校:3割、中学校:6割)、さらに教職員の大きな課題は①児童生徒や保護者への対応と②教職員同士の人間関係の希薄化など、教職員を取り巻く全国的な重要な課題について説明されました。その中で「教員は一人で何事もやらないといけないという意識が強すぎる。」「子どもたちに人間として重要なものを教えるのが教師！」など、地域社会や保護者と協働して子どもたちを育てていくという基本に戻る必要があることを力説していたと思います。志々田まなみ統括研究官は2月25日(土)の第15回地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会の講師として梅園の里に来られます。

分科会では、コミュニティ・スクールの方向性としての①学校課題の解決(玖珠町)、②既存の仕組みからのコミュニティ・スクールへの移行(長崎市)、③高等学校へのコミュニティ・スクールの導入(和歌山県)、④教育委員会の役割(大分県・別府市)の4つの取組事例の報告と研究協議が行われました。

コミュニティ・スクールの導入は、学校(教職員)と学校校運営協議会と地域学校協働本部の協働によってその成果が期待できるものであり、我がNPO法人大分県協育アドバイザーネットもそのお手伝いをしていきたと改めて感じました。

令和4年 大分県青少年健全育成大会に参加



(開会式の様子)

今年も行って来ました、大分県青少年健全育成大会！協育ネットは会員でもあります。毎年表彰される団体、個人の皆さんの長年の活動に感謝しながら私たちも頑張らねばと思います。

今回の講演は学校法人立花学園 立花高等学校校長齋藤真人さん、立花高等学校は不登校を経験した子どもたちが多く通っています。今社会問題でもある引きこもりや不登校、そんな子供たちに魔法の言葉「いいんだよ」は心の癒しに重点を置いた教育実践だと思いました。私たちも地域・家庭・学校で子どもたちの健全育成に取り組んでいきたいと改めて思って1日でした。(上原)

<2023年(R5年)> 第15回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会要項

本交流会は、「おおいた教育の日」の趣旨に賛同して、県教育委員会や県内のほとんどの市町村からの発表をいただきながら開催してきました。今回が15回目となりました。近年、学校や家庭、地域における様々な取組について連携・協力が求められ、県内各地においても各種組織・団体が学校等で連携・協力した新しい取組が行われています。特に、文部科学省及び県教育委員会においては、地域住民のネットワーク化による、地域と学校との協働を進めるシステムづくりのために、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入と、地域学校協働本部による地域学校協働活動を促進しています。参加者が互いに交流することによって、こうした取組の実践者自身が活動エネルギーを蓄えるために、本交流会を開催します。

運営委員長(東国東地域デザイン会議会長) 林 浩昭

テーマ ~コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会制度と地域活動を考える~
主催 東国東地域デザイン会議/大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター/
NPO法人大分県協育アドバイザーネット
会場 「梅園の里」(国東市安岐町富清2244) ☆梅が咲き誇る三浦梅園生誕の地~「梅園の里」~☆
期日 令和5年(2023年)2月25日(土)

■10:00 開会行事

■10:20~12:10 第1部 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを考える

《1》10:20~11:20 基調提案

<提案者> 文部科学省国立教育政策研究所 志々田 まなみ 総括研究官
テーマ:(仮題)「協育(教育の協働)」の推進施策と期待する成果

《2》11:30~12:10 現代的な課題への取組

<提案者> 別府市立石垣小学校学校運営協議会 中川 忠 宣 委員長
テーマ:教職員の心的・時間的ゆとりを作り出すための学校運営協議会の取組

■13:00~15:10 第2部 地域学校協働活動を進める実践事例から考える

《1》13:00~13:40 コミュニティ・スクールでの地域とともに取り組む教育課程を考える

報告者:別府市立中部中学校 佐藤 裕一 校長

《2》13:45~14:25 コミュニティ・スクールと協働する地域活動を考える

報告者:佐伯市立明治小学校 尾崎 紀美子 コーディネーター

《3》14:30~15:10 義務教育学校の教育活動における学校運営協議会制度を考える

報告者:国東市立志成学園 畑野 章 学園長

■15:30~16:30 第3部 総括討議

テーマ:コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会制度と地域活動を考える

【コーディネーター】大分大学 岡田 正彦 教授

■16:30~ 閉会行事

■17:00~ 情報交換会

☆参加者へのお願い<新型コロナの対策についてのご協力をお願いします>☆

*「密」にならない会場設営をするために申込みは早めをお願いします。

*マスクの着用 *受付での検温と消毒 *間隔をとった座席指定

~申込方法~ <参加者の定員:60名程度>

○申込みフォーム <https://www.he.oita-u.ac.jp/15design/> から申し込みください。

※右記QRコードからもアクセスできます。

○電子メール,郵送,FAXの申込みも可能です。別紙「参加申込書」をご参照ください。

※参加申込書は、要項と併せてホームページに掲載しています。

○令和5年2月13日(月)までにお申し込みください。

※宿泊希望者は、部屋数確保のために令和5年2月13日(月)必着です。

○詳細(広報):「大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター」 <https://www.he.oita-u.ac.jp/>

「NPO法人大分県協育アドバイザーネット」 <https://www.kyouiku-adviser.net/>



(こちらからが簡単です)

事務局よりお知らせ

協育ネットの活動は皆様の会費で行っています。年会費の納入をお願いします。振込先は下記口座へ会費納入のお願い

郵貯 記号 17220 番号 4866821 トクヒ)オオイトケンキョウイクアドバイザーネット